

米海軍横須賀基地のPFOS（パーフォス）等に係る
国からの説明（第10報）について

1. 日 時 令和6年（2024年）2月16日（金）13時30分～13時45分
2. 来 訪 者 防衛省地方協力局環境政策課 田實課長
防衛省南関東防衛局 関企画部長
3. 対 応 者 市長室 中野市長特命参与
市長室 国際交流・基地政策課 小池課長

4. 国からの説明概要

先日の横須賀市からのご要請を踏まえて、粒状活性炭フィルター通過前後の水のサンプリング分析結果について、改めて米側に確認しているところだが、米側から「PFOS等の値は安定している」以上の回答は得られていない。

また、併せてご要請のあった、米側の管理権による横須賀市の立入り及びサンプリング調査の実施について、米側に確認したが、立入りについては認められていない。

5. 市側の対応

以上の説明を受け、同日、市長が在日米海軍司令官と電話会議を行った。
詳細は『別紙2』のとおり。

在日米海軍司令官との電話会議について

1. 日 時：令和6年（2024年）2月16日（金）14時00分～14時15分
2. 会議内容：以下のとおり

■市長

- ・昨年10月21日に粒状活性炭フィルターを稼働停止した旨の説明が、12月21日に南関東防衛局長からあった。その際、市民の安全・安心の確保のためにも、粒状活性炭フィルター通過前後の水のサンプリング結果の確認が必要であるため、サンプリング結果の数値について情報提供するよう、私から国に対し強く求めた。
- ・しかし、1月18日の国からの回答は、「米側からは、『P F O S等の値は安定している』以上の回答は得られなかった」との説明内容であったため、再度、サンプリング結果の数値について米側と調整するよう国に対して求めたが、『P F O S等の値は安定している』以上の回答を米側から得られなかった旨の説明が、先ほど、国からあったところである。
- ・私は、サンプリング結果の提供について、日米政府間で調整するよう、これまで再三にわたり、国に対し申し入れをしてきたが、サンプリング結果の数値の提供がいまだにされていない。

□在日米海軍司令官

- ・P F A Sに関することは、在日米軍全体の問題として扱っているため、在日米軍司令部が全て対応することとなっている。

■市長

- ・P F O S等に関することは、在日米軍司令部が一元的に扱っているものとは承知しているが、私は地元首長として市民の安全・安心を守らなくてはならない。粒状活性炭フィルターの稼働が停止したことで、不安になっている市民が少なくないのではないかと考えている。私は市民の不安を払拭したい、その一心でこれまで申し入れを行ってきた。
司令官から、その私の想いを、在日米軍司令部に伝えてもらいたいと思う。

□在日米海軍司令官

- ・市長の考えは理解している。
しかし、P F A Sに関することは在日米軍司令部が全て対応しており、これは上層部からの命令でもあるため、私としても、これ以上言及するのが出来ないことをご理解いただきたい。
ただし、市長の想いというのは、在日米軍司令部に伝えたいと思う。

■市長

- ・よろしく願いしたい。

以上